

1. 目的

本市の三角地区は、若年層の流出が著しく人口が減少しているため地域の消費が落ち込んでいるものの、一方で、年間50万人も観光客が訪れている。本来であれば人口減少分を相殺できる程度の消費が見込められると思われるが、観光による地域経済への波及効果が表れていない状況である。このような状況から、従来の取り組みに不足していた客観的なデータに基づく観光戦略立案や推進体制のガバナンス、PDCAサイクルを地域に導入し、観光や物産を手段とした成果を生み出す地域経営の仕組み(DMOや地域商社)を構築するもの。

2. 事業内容

①稼げる観光を推進するための体制整備

▶現行の市・観光物産協会・第3セクター等の観光関連団体による観光推進体制の見直しを図る。

②マーケティングに基づいたプロモーション事業の実施

▶三角地区での体験プログラムや飲食店への誘客キャンペーンを実施する。

③来訪者調査の実施

▶三角地区で定期的に来訪者調査を実施し、プロモーションの効果を検証する。

④宇城市観光戦略の策定

▶効果的で中長期的な施策を展開するため、市の根幹となる観光戦略を策定する。

あるべき姿

- 良質な雇用の創出
- 若年層の流出抑制
- 稼ぐ力を高める

取組み

- マーケティングに基づいたプロモーション
- 来訪者調査
- 観光戦略の策定

DMOの創設

- 客観的なデータによる戦略
- 推進体制のガバナンス
- PDCAサイクルの導入

3. 予算額

地方創生推進交付金
10,000千円

4. 期待される効果

成果を生み出す観光地域経営の仕組みが創設され、地域経済を活性化することで、良質な雇用の創出による若年層の流出抑制の実現に繋がるものと期待する。